平成20年度　施策評価シート

◆総合計画における位置付け等

平成20年7月23日記入

基本目標	学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	18310
政策名（章）	第8章　国際平和と人権が尊重される社会を実現します	評価担当局	市民局
基本施策名（節名）	第3節　男女共同参画社会づくりの推進	施策所管課	男女共同参画課
施　策　名	男女平等意識の醸成	課長名	江成明美

1　施策の目的・概要（目的はわかりやすく記入）

さがみら男女共同参画推進条例、さがみはら男女共同参画プラン21に基づき、男女の人権が互いに尊重され、個性と能力が十分に発揮できる男女共同参画社会の実現をめざし、男女の固定的な役割分担意識やそれに基づく社会制度・慣行等の見直しに向けた様々な意識啓発に努めてきた。今後は、近年の少子高齢化の急速な進行や社会経済情勢の急激な変動等社会の変化に対応した、時代のニーズに合った施策も進めていく。

また、施策の実施にあたり、市民(男女共同参画推進員)との協働による男女共同参画の普及・啓発活動（「女と男のいきいきフォーラム」の開催、情報誌「ともに」の発行等）を行っている。

2　事業費・人員

（単位：千円）

年度	平成17年度（決算）	平成19年度（決算）	増減の主な理由
事業費	3,071	2,863	
人件費	1,127		
市民一人あたりの事業費（単位：円）	5	4	
合計	4,198	2,863	

＊人件費は、職員一人あたり　H17：805万円、H19：805万円として算定。人口は、66.7万人（H18.4.1現在）、70.6万人（H20.4.1現在）とした。

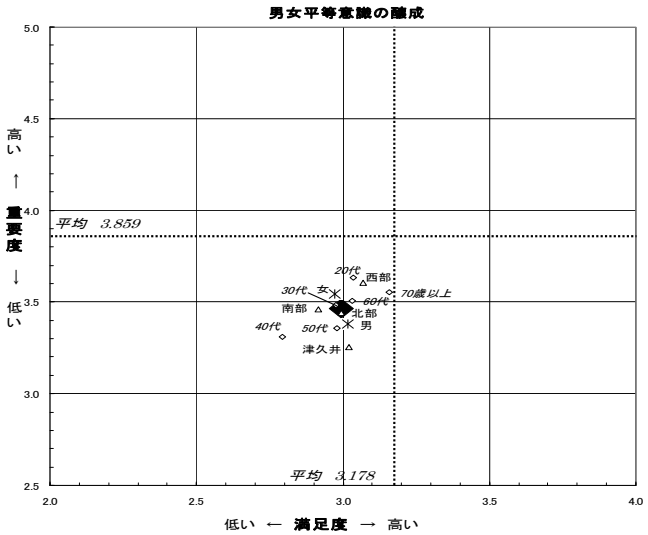
3　成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	目標値の考え方（根拠）
指標1	事業への参加率	講座等へ定員に対する参加率により、事業に対する市民のニーズをはかる。 参加者数÷募集定員×100	ここ数年の募集定員に対する参加者の割合を推移を勘案し、年2.5%の参加率の増加を見込む。
指標2	事業への男性参加率	事業への男性参加率により、男性に対する啓発の効果をはかる。 男性参加者数÷参加者総数×100	ここ数年の事業への男性参加者の割合の推移を勘案し、年2.5%の参加率の増加を見込む。
指標3	事業の参加者の満足度	講座等への満足度により、啓発の効果をはかる。（講座の参加者アンケートより） 「よかった」と回答した人数÷アンケート回答者数×100	ここ数年の「よかった」と回答する人の推移を勘案し、年1.5%の増加率を見込む。
指標4	男女共同参画プラン21実施状況	男女共同参画プラン21の実施状況を、施策の推進状況ではかる。 実施済事業数÷総事業数×100	平成22年度までに、男女共同参画プラン21に掲載されている事業を100%実施する。（年間1.5%）の増加を見込む。
指標5	企業の育児休業・介護休業制度の現状 （雇用促進対策基本調査より）	実施企業割合の増減 （育児休業ありの割合%+介護休業ありの割合%）÷2	基本調査は前回は16年、今回は20年に実施。次回は22年の予定。年2%の増加を見込む。

	基準年	基準値	H19		H20		H21		H22	
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標1（単位：%）	H17	71.7	76.7	89.2	79.2		81.7		84.2	
事業費／人員										
指標2（単位：%）	H17	17.8	22.8	18.9	25.3		27.8		30.3	
事業費／人員										
指標3（単位：%）	H17	90.8	93.8	94.8	95.3		96.8		98.3	
事業費／人員										
指標4（単位：%）	H17	93.2	96.2	97.3	97.7		99.2		100.0	
事業費／人員										
指標5（単位：%）	H16	69.8	75.8		77.8		79.8		81.8	
事業費／人員										

4　市民満足度調査結果（平成20年度実施分）

〇この施策の満足度は2.994で121施策の中で113番目。
〇重要度は3.462で106番目である。
〇改善要望度は-0.1503で90番目である。
〇年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、40代で最も低くなっている。重要度は20代で最も高く、40代で最も低くなっている。
〇地区別にみると、満足度は西部で最も高く、南部で最も低くなっている。重要度は西部で最も高く、津久井で最も低くなっている。



5　1次評価（2つの視点から評価を行う）

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回（H18）評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	(4) 2　1	4 (2) 1	目標(指標1～4)の平均達成率は100.8%であり、目標を上回る成果をあげている。
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4　2 (1)	4　2 (1)	
合計		5	評価結果に基づく区分（2項目の合計点数による） A（6点以上）　B（5点・4点）　C（3点以下）	1次評価 B

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6　課題と解決策（現状または、評価結果から）

課題	男女共同参画社会の実現に向け、あらゆる分野における意識啓発事業の実施が重要な課題であり、今後は、ワーク・ライフ・バランス等、社会の変化に伴う時代のニーズにあった効果的な事業展開を工夫する必要がある。
解決策	男女共同参画社会の実現には、地域の身近な団体や組織等と連携・協働し、多様な主体の参画の確保等、実践的活動を中心に取り組み、具体的にはプランの改定の中で検討していく。

7　2次評価及び意見（1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入）

	2次評価 B

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8　3次評価及び意見（評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入）

指標については、近隣市と比較するようなベンチマーク的な指標を設定すると市民の納得感も得やすいのではないか。是非検討されたい。	3次評価 B

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

男女平等意識の醸成

コード	18310

構成事務事業一覧

単位：千円

事務事業担当課	構成事務事業	H19決算見込（事業費）	H20予算（事業費）	H21見込額（事業費）	事業効果の高い指標番号	前回の優先順位	H17人員（人）	H17決算額（事業費）	H17合計（人件費含む）
男女共同参画課	男女共同参画啓発経費	2,863	3,973	3,973	1～4	1	0.14	3,071	4,198
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
		2,863	3,973	3,973			0.14	3,071	4,198